礫陵新聞
発行所　若松高校新聞部
福岡県若松市小石
発行人　豊田和哉
編集人　入江健太郎
印刷所　西日本新聞社

大正チエーン薬局
合名会社　田村薬局
栄盛川本通り
電四六〇七番

昭和廿九年度　予算査定額決定す

総額2080.719円

二十万余大幅に増額

各部の活動方針具体化

◇……本年度生徒会総務および専門部三十九部の予算は去る四月下旬より予算審議委員会において各部提出の要求額を連日慎重に審査されていたが検討の結果ようやく原案が職員会に提出され最終審査を通過しここに査定額の決定をみた。総額二〇八万七一九円中総務四四一・一二八、体育部六七四・二九六、文化部八八四・八九〇、内訳表のように決まりいよいよ本年度の各部の活動源の予算使用が実施され生徒会でも有効なのびのびとした部活動を強く要望している。……◇

比率　文化部　四・三二。体育部　五・六八

四月下旬より審議されてきた予算も五月十三日最終審査を通過し決定した。今年は生徒総数の増加、繰越金などで約二十万円の増額、各クラブとも昨年より増加している部が多い。比率においてはいろいろ取沙汰されたが結局、文化四体育六、の割合に落着いた。良心的な要求額をと要望されたように無茶な吹きかけは見られなかつたようだが、要求額は割当額の約一五倍強。連日また連夜の審査に委員もさすがに疲れ気味の態が見うけられた。

昭和29年度生徒会予算

部名	28年度予算	29年度要求額	29年度査定額
総務	407、018	441、128	441、128
1、文芸	21、000	39、390	21、650
2、生物	35、115	51、700	34、750
3、無線	48、000	30、000	28、500
4、物理	38、550	38、980	37、900
5、化学	16、500	60、500	18、500
6、地理	25、200	43、820	24、460
7、歴史	12、520	29、690	13、270
8、一般社会	11、325	23、770	14、520
9、生活科学	16、050	19、010	16、760
10、英会話	6、840	12、500	6、160
11、珠算	15、485	21、710	15、060
12、タイプ	5、800	10、040	7、640
13、経済調査	28、050	40、760	28、540
14、図書	220、000	232、876	215、016
15、弁論	2、850	11、180	3、100
16、演劇	27、100	43、000	31、200
17、映画	7、640	16、500	8、660
18、写真	11、305	35、060	13、120
19、音楽	13、820	46、120	15、520
20、美術	10、500	15、100	12、000
21、書道	5、700	6、300	6、300
22、新聞	55、000	101、910	66、350
23、園芸	15、400	62、626	17、880
24、放送	——	26、440	17、440
合計		1、018、982	674、296
1、野球	157、350	160、000	150、000
2、庭球	49、090	109、050	71、650
3、卓球	30、960	49、520	35、270
4、ラグビー	83、496	155、600	74、850
5、籠球	74、075	95、100	85、100
6、排球	85、498	118、400	89、740
7、陸上	69、800	77、920	70、320
8、水泳	66、091	77、350	55、950
9、相撲	31、720	41、000	11、650
10、山岳	28、900	111、400	43、900
11、ソフトボール	17、640	19、430	11、250
12、柔道	42、710	107、300	75、200
13、剣道	38、300	80、600	68、750
14、ダンス	8、650	12、050	6、600
15、弓道	33、900	48、350	34、610
合計		1、263、070	884、890

白橋委員長談

今年の予算審議は、大部分の意見が生徒自身から出され採決されたもので例年より進歩したものであつたと自負するところである。さて委員会は各クラス一名の委員で構成し四月二十五日に第一回をもうけ四月一杯フルに働き、五月十三日修正に関する審議を行いその任務を終えた。ついで十七日に承認を得て正式に成立したわけだが、審議の基準と課程は

一、予算作成の基準になる点を定め、部長に予算を提出させた。（基準点は省く）

一、審査課程は規約に順じた。

一、各部長よりその提出理由、ならびに昨年の実積、本年の計画および各部の状況（部員数、現存備品など）を説明してもらつた。

一、委員は細部にわたつて質問した。

一、会は秘密会とし、一つ一つ慎重に審議した。途中で再び部長に説明を乞うたこともたびたびにおよんだ。

一、四月末日で審議を終了したが計算の違いや不備の点を五月十三日に修正した。

報告は以上の通りだが、各部の要求額は割当額の一・五倍を示し各部とも相当なマサツがあろうが平均三分の一をも削るのだから当然のことで、われわれに理解がないといわれることは遺憾である。

審議を終えて感ずることは、文化部一体に旅行が多すぎる。もつと研究を足元に注ぐべきだ。旅行のための文化部にならないよう文化祭にも備えて頑張つて欲しい。体育部には、ただ練習を積んで立派に成績を上げることを望むだけである。

最後に顧問の先生、ならびに非常な苦痛と勤勉に協力して頂いた委員に感謝の意を表したい。

添田教官談

各ホームルームから選出された予算委員会は四月二十六日先ず文化、体育の比率、査定基準などを討議し、その結果比率は昨年の四、二五対五、七五に対しあらゆる角度から検討の結果、原則として四、三対五、七を基準とすることを決定。更に査定の基準各部予算案偏成基準などを審議決定、それに基ずき各部長から予算案に対する説明を聞きこれに対し委員側から細部にわたつて質問を行い各項目ごとに長時間慎重審議をし採決によつて、文化部二十四、体育部十五部の予算案を次定し五月十七日の職員会議に提出、いろいろ希望意見はあつたが予算委員会の意向を尊重修正で決定したのである会費収入に対して部数が多いために、各部の要求に対し削減をせねばならぬ結果となり、満足な予算査定ができなかつたので計画通りの活動が実施できないと思われるが予算委員会としては、公平無私の立場において各々の原案をできるだけいかすことに努め、公平安いな予算案の査定に尽力し、委員の中心は連日長時間の審議に疲れ欠席する者も出た。しかし真剣な討議の結果であるので各部においてもこれを了解し特に予算執行にあたつては、生活会費の性格を考え、有効適切に活用し備品の管理に留意し最少限の費用で最大の活動を行うようクラブ委の協力を切に希望する。

論説　情操教育の必要

最近急に学校全体が盗難に神経を使うようになつて来た。非常によいことだと思う。もともと本校の盗難事件は近ごろ始まつたことではないのであつて本紙でも二、三回論じている。たまたま新学期以来、急に盗難が頻発になり、最近ではこれに対する具体案も練られて盗難予防に積極的になり出したのである。しかし今度の盗難調査で一番悲劇を蒙つたのは停学になつた二名の生徒である。彼らも悪意があつて盗んだのではなかろう。一時間前まで机の中にあつた本がなくなつている。親に無理をいつて買つてもらつた本だ。『ええい、俺も盗られたんだ、盗つてやれ』という気持は誰しも起る気持ではなかろうか。その気持はわかるとしても、この考えは軍隊における『員数をそろえる』という考えに通ずるもので、新しい時代のイデオロギーとはいえまい。

今度の盗難事件でも厳密に調査すれば、もつと停学あるいは退学になつているだろう。その意味から彼ら二名はわれわれの犠牲ともいえないことはない。盗難事件に関係した多数の生徒は、はたして現在自分のなした行為を反省しているだろうか。校長先生の訓話、その他主任などの話によつて完全に反省しきつたであろうか。人間一人一人の観念は急に一変できるものではなかろう。盗難事件と直接関係したことではないが、このようなことについては、昨年末生徒部長などから、この学校の生徒はかさかさしている、人間味がない、乱暴であるなどいわれてきた。これも確かな事実で、特別教室で昨日まで使用できていたイスが、今日はこわれていることもあつた。われわれは今まで何回となく『校具の愛護』という週訓を耳にして来た。このような形式的な型だけでいくらいつても、人間の情操の面が補えるはずがなかろう。

総ての事柄がもつと生徒一人一人に、自然浸透して行くようにすべきであろう。その一例として、われわれの耳に最も近い校内放送が昼休みにかける音楽も、授業で疲れている頭をいやすものにするような配慮がほしい。ただでもどうかある頭は狂つてしまおう。視聴覚教育の重要性は今さらいうまでもないことであるが、校内放送の利用方法も考え直す点があるのではなかろうか。情操教育の不足は、何も音楽だけで補えるというわけではないが、地球上に住む如何なる野蛮な民族でも各々の民族音楽を持つているということは、人間にとつて音楽がいかに重要であるかを示しているといえるだろう。音楽教育の一環として、最近は著名な演奏家を招いて鑑賞することが行われており、これはよいことであり今後も続けてほしいがそればかりが音楽ではなかろう。現在の三年男子の半数は本校へ入学して一時間も音楽の時間がないのである。せめて生徒全員に、月一回くらいの情操陶冶の時間はあつてもよさそうなものである。このようなことは他の学課、その他の面でもいえることであろう。頭からだけの教訓は反感を覚えるかあるいは慢性になり、効果がないばかりか、かえつて逆効果のおそれが多分にある。盗難や、その他の悪習が自然になくなるように、学校全体がもつと人間味のある暖いふん囲気にするために先生も生徒も、もつと考える必要があるのではなかろうか。（M）

旅行方針決る

年度末頃

二年生の修学旅行の実施時期、目的地、先班来協議していましたが、先日目的地については父兄生徒共に、東京地方が圧倒的に多く学校側も賛意、ここに例年通り東京地方に決定しました。時期については、希望調査の結果では二学期末が学年末案を上まわつていたが、学校側は比較検討の結果学年末休業中に行うと決定した。その理由として

一、二学期案は旅行中第一、三年の授業に支障をきたす。

二、春休みの方が授業を欠かなくてよい。

三、高等の学習をなるべく多く履修した上で実施について見学した方が有意義である。

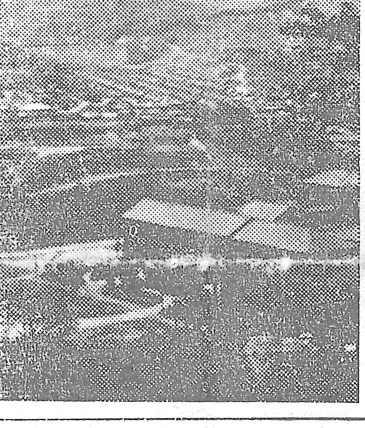
なお、学校側よりの願いとして修学旅行のために被服その他、新調しないようにとのことです。

北九家庭クラブ総会開かる

二月十三日戸畑高校において行なわれた北九州地区家庭クラブ連絡会の席上本校の鈴木愛子さんが会長に選任されました。続いて去る五月十六日本校講堂において昭和二十九年度総会が来賓顧問の先生を加えて開催されました。開会は三十分おくれて十時三十分に始まり開会の辞、学校長挨拶、議長団選出と進み来賓の挨拶に続いて家庭クラブの歌を合唱して午前の部を終りました。午後は一時半開会ＨＰ（ホームプロジエクト）発表、酒井指導主事の講話があり一応閉会、バスで高塔山に登り市内展望高塔山で解散した。きづかわれた雨も降らず盛大に無事総会の幕を閉じた。

会長　鈴木愛子談

夢想だにしなかつた会長という大任を負いその責任の重大さを思うと不安な気も致しましたが、皆様の御協力により家庭クラブ発展のために専心努力したいと思つています。また総会を無事終えることが出来ましたことは会員の一人としてこの上もない喜こびでした。この開催にあたり貴重な日曜日を出席御協力くださいました本校会員の皆様に厚く御礼申し上げます今後ともクラブ発展のため御協力をお願い致します。



行事予定

六月七日　読書指導
八日　ムシバ予防日
九日　進学模試（十二日迄）
十日　体重測定
十四日　一二年実力テスト
十八日　芸能科研究会
二十日　実務珠算検定
廿一日　期末テスト時間割発表
廿三日　腸チフス予防注射
七月一日　期末テスト（五日迄）
二日　一、二、三年会議
十日　体重測定
十五　大掃除
二十日　終業式大掃除音楽会

時事解説

フランス政局の動揺

——よろめくフランス政局

先日のラジオ放送で（六月十二日）ラニエル内閣が、僅少の差ではあつたが信任投票に破れたとの報道を聞いて率直にいつて『またか』との感を禁じ得なかつた。戦後九年間に十八回も内閣が変るということは、世界でも類のないことでからである前々首相ピネーは、ピネー実験として知られる仏貨公債を出して民間に退蔵されている金の吸収に努力したが、それも及ばず財政の行づまりであつさり政権を投げ出し、続いたマイエル内閣も昨年五月廿一日倒れた。オリオール大統領は、次々に、社会党書記長ギー、モレー、ドゴール派ルアンドレーディルタン、独立共和党レーノー（元首相）急進社会党マンデフランス、人民共和派ジヨルジユビドー（外相）に組閣を依頼したが、いずれも失敗に終り仏政局の動向は世界の注目するところであつた。

用意された決裂

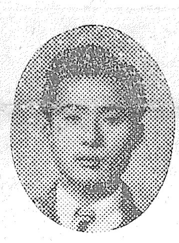
老いたる文化国苦悩

当時フランスでは無政府主義者プルードンの亡霊がフランス政界を横行しているとの噂さえたつた。イギリス人やドイツ人の見方によれば、フランス人は元来対外的問題とか全国家的問題については大部分がアネーキストであるが、一度自分の地方とか、自分の職業とかに密接な利害関係を持つている問題になると、俄然政治的情熱がかきたてられるという。プルードンの政治論は国家の否定と地方の小さい共同体の肯定におかれている彼の理論は故国フランスの人民達のかかる性情を如実に反映しているといわれる。さて十八回目のラニエル首相が何時までもつかは吾人の興味とするところであつたが、この度も定石通りに、フランス国民が動いたかどうか？

ディエンヴエンフーという恐らくわれわれが一生知ることもできないと思われる一村落がかくも世界中の新聞にとりあげられ、また仏国民の意図をゆるがしたのはその作戦的重要性は別として、年々仏士官学校卒業生の数を超える犠牲を出し、アメリカからの対仏援助は、全部仏印戦に費消し、そうでなくても激情的な仏人にとり、欧州防衛共同体に、戦後、痛手に屈せず隆々として再興した宿敵ドイツが相当数の軍備をもつて参加するということは何としても我慢のならぬところであろう。その最中に開かれたのがジユネーブ会議である。思えばルガノ会談が立消えとなり、バーミユーダ会談がやつと成立しどうにかジユネーブ会議に漕ぎつけた立役者は何といつてもチヤーチル英首相の功績が大きいと思われるが、結果的にいつてこれもさしたる成果を挙げ得ないのではあるまいか？さてそのジユネーブ会談であるが、これに対して四月廿四日の英下院でペヴァンは『ジユネーブ会議は、周到に用意された失敗を以て終るであろう』悲観的予言を為しているがどうも自分にもそんな気がしてならない。ソ連、中共はジユネーブの会議を成功させたいという意志をくり返し公式に表明しベルリン会議の前も同様の意志表示をして来た。もしこの会議が失敗に終れば現在の米、仏両国の感情状態ではフランスが仏印を投げ出し、アメリカが何等かのかたちで肩代りする可能性が濃い。そして参加国の大部分がこの肩代りを希望していない。五月十三日パリでは国民議会でラニエル内閣の信任投票が行われた。表決に先だつてラニエル首相は、次の通り述べた。——『政府は一九四五年以来インドシナをフランス連合の中の絶対に必要な地域と考えると共に、東南アジアの戦略拠点として考えてきた……仏印戦争を恥ずべき屈伏を以て終結させる訳にはいかない……ジユネーブ会議が決裂すればその結果ははかり知れないものがある。今フランス内閣が危機におかれるならば、それはわれわれが降伏したと解釈される危険がある……』表決の結果は、二八九票対二八七票で辛くも信任された。そして昨六月十二日の信任投票においては、三〇六票対二九三票で破れコテイ大統領のもとに、閣僚全員の辞表が提出された。当然の結果としてジユネーブ会議は早くも混乱状態にある模様であるいずれにしても考えられることは、この老いたる文化国の苦悩——政治的にもまた経済的にも——は深みゆくばかりであろう。（本校教官　山村忠之）

生きた社会学

第一汽船　久木元昭人

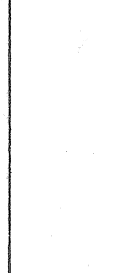


自然環境に恵まれた母校を去つて早くも三カ月が過ぎました。諸君も連日勉学、運動に励んでいることと思います。僅か三カ月という間に政治的にも社会的にもさまざまな事件が引き続いて起り、これらの事件は社会に大きな影響を与え、われわれに直接関係するところの経済界を不況と不安とに落し込もうとしているかにさえ思われます。この時期に社会へ第一歩を踏み出したわれわれは幸か不幸かは別として、しつかりした信条をもつて日常を健全に過ごそうと努力しています。学校時代における物ごとに対する思考と、卒業してからの現在とは非常に考え方が変つて係ました。何をするにも一応そのことを細心にまで注意する心の準備が今までより一層ととのつたように思います。生きた社会学とは、実際社会に自分自身が存在することによつての真の姿を見い出すことができ、身につくものであるということも理解することができました。そして、それは学校時代に考えていたような単純な浅いものでなく、複雑でかつ深く限りないものであり、わかりきつたことですが社会全般を理解し修得することは一朝一夕には出来ないということです。今、卒業後三カ月を振りかえつてみると、すべてが初めてぶち当るものでありちよつと不安でしたが、恐れることなく種々の仕事を実際に処理することに一つづつ仕事を覚え、会社というものの在り方を理解できどうやらそのふん囲気に親しめるようになつたという感じです。気分的に馴れると職場も学校とは、また趣を異にする楽さを見い出すことができます。しかし、少しぐらい馴れても常に学校時代と変ることのない生き生きとした新鮮な気持で真理を求め、誠実と理想をもつて日常生活を過ごすよう心懸けている次第です。われわれは直面する世界の状勢を鋭く感受し、正確な批判と判断力をもつことは強固な意志および誠実さとともに社会人として成長する上にも重要なことだと思います。それにも先ず常に頭を使うこと、すなわち勉学が第一です。諸君も進学する人はもちろんのこと就職を希望する人も先生方の御指導を得て、今一層自分自身の実力を増進せしめ、しつかりした地盤を学生々活の間に築いて将来の社会生活をより良いものにするために努力され、悔いのない学生々活を過ごされるように念願しています。いろいろと感ずることはありますが、それらは諸君が今までに先生や先輩から耳にしたとおりで、要するに社会と学校の相違をはつきり理解できたということに共通点は到達するといえるでしょう。最後に諸君の健康を祈り、われらの若高のより一層の発展を期待してペンを置きます。

礫陵あの人この人

白石和子さん

出身校は二中、中学時代から学級委員や学校の生徒会の委員として活躍、下級生の良き指導役として全生徒から信頼されていたという。だから現在の素地は充分中学時代から既に練磨されていたわけである。彼女の批評をクラスメートに聞いてみる。『親切で頼もしく人格者で……』とベタ賞め。



彼女自身に聞けば『実に不勉強で皆様の御声援に冷汗の思いです』とケンソン。副部長着任の挨拶として次のように寄せてきた。

私の就任最初の仕事である予算審議も終り、審議に当られた委員の方々の御協力を嬉しく存じます。生徒会が皆の本当に身近なものであるためには、現在行われている各部の活動が最も密接なものとなり、また生徒会に対する意識の向上のために最も近道と思いますのでこの方面からの活躍を一層お願いしたい。今までの生徒会があまりに一部の者のもので全員に縁の薄いものであつたことを反省しています。彼女の趣味の一つに絵をかくことがある。これには立派な才能があり幾多の入選賞状賞品の持主。生徒会の発展のために委員長のよき相談役として今後の努力発展を望む気持で拍手を送りたい。（現副委員長）

職場だより

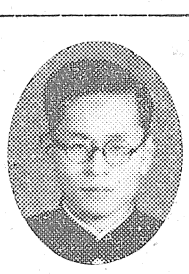
責任と誠意で

日本石炭協会　志水洋子

なつかしい学窓をはなれて早や三月。今はもう私にも責任ある一仕事ができました。この三月の間私の身辺には重要な時でした。第一に学校を出たばかりの私にとつてはすべてが冒険ということですすべてにおいてただ不安ですし、すべてが冒険です。いくらそれが失敗に終ろうと、それは自分の将来を助けてくれる唯一のものとなります。私が未だ入社一月とならぬ時香椎のＪＰＡ（在日米軍調達部）へ出張といわれ『すべてが冒険だ』と思つていた私も、これには驚きと不安でいつぱいでした。しかし地図を唯一のたよりとして行きました。門の前でここかしらと何の気なしに立ち止まると、何と憲兵が立つているではありませんか。私は思わず下を向いて入りましたが、また各々の部屋からは英語が聞え、外人が廊下をゆききしています。ひき返すわけにもいかず目的の用事をやつと済ませました。初めは不安でいつぱいだつた私の心も、帰りはうれしさで満たされた次第でした。この時つくづく何でもやつてみなければならないと感じました。第二に礼儀正しいことです。私の会社は仕事の関係からお客さんの出入が多く、その場合の接待応答が特に大事です。電話をかけることにおいても言葉使いにも細心の注意を要しました。第三に、仕事に対してはすべて誠意をもつてやることです。自分個人の感情はおさえて常に明るい態度で心から誠意をもつてしなければなりません。

活気に乏しい

本校新任の石丸先生と語る



今学期より本校に赴任御活躍しておられる石丸先生にいろいろとお尋ねしてみました。

——まず略歴を——

生れは愛媛県の片田舎、小学校は今治市、中学校は今治中学から漱石（坊ちやん）のモデルとなつた松山中学へ転校しそのまま松山東高校、そして広島大学にて四年間地理を学んで押出され本校にやつて来た。まずなんとか一度も落第の浮目はみてない。

——若高に来ての第一印象——

学校がごみごみした町中でなく大都市の効外的な感じの丘の上にあることは、教育環境としては非常に好印象をもたらしたが南と北に校舎が別れていることが大きな欠点に思われる。

——若高の生徒から受けた感じ——

本校の生徒は勉強態度は真面目でおとなしい、その反面活気にとぼしく単に試験の結果で三〇点以上もらえれば良いといつた風がみえる。私は本校に来る前北九州といえばもつと元気があつて毎時間つるし上げになる位の覚悟をしていたがそうでもなかつた。また少しおしやれのような気もする。私の中学の時などズボンに折目がついていたら上級生から生意気だといわれていたのにくらべると今昔の感がせぬでもない。

——初講議の時どんな気持でしたか——

最初教壇に上るまではトキンドキンとしていた。諸君からはあがつて見えたかも知れない。しかしあがつても生来色素が多いから顔には出ないはずだ。

——男女共学について——

私達の時代は共学でなかつたのでうらやましい。しかし男女共中性化する傾向があるのではなかろうか。

——今後の方針は——

若さにまかせて力いつぱい愉快にバリバリ共に勉強していこう。

——どうも有難うございました。

前進

本年度のクラブ予算がやつと成立した。生徒会費総額百余十万円の金を各部が了承できるよう、うまく分配することがいかに困難な仕事であるかはその仕事にたいづさわつた者のみの判る気持であろう。▼毎年のことで予算審議ともなれば各部とも悲壮（？）な決心で委員会にのぞみながら請求額の最低線も貰えず泣き面をかかえて一年中のやりくりを考える。だが予算というものは総務のお情けにすがつて各部がお頂戴するものでない実の要求額を各部で出しお互いが納得のゆく線で分割すべき筋合のものである。▲本校では現在のところ、予算決定に各ＨＲ一名づつの予算審議会なるものによる各部提出の要求額の検討の後、原案を職員会に出しそこで決定したものとなる。だが聞くところによればその審議会において、三年生は別として主に一、二年生は発言権を失つたもののごとく有名無実の存在だということである。われわれは彼らが全生徒の代表たる態度をもつてその代弁を果しているだろうかを疑うものである▼また現在の予算編成では少くともその根拠において机上議論の上に決められる傾向があるのではなかろうか。因みに他校について調べれば、予算委員会内に小委員会を設け各部につき長期にわたつて詳細に調べているところがある。また決して最良とはいえまいが全校生徒に最後に承認を得るところも多い▼事実本校には三十以上のクラブがあるが予算だけ取つて一年中一体何をしているか、というようなクラブがないでもない。要は生徒全部で出し合つた貴重な金である。一銭たりとも無駄にすることなく最も有効に使うべきものであることはいうまでもない。▼文化祭は、まだはつきりした日時は決つていないけれども今年も行なわれるということである。恐らく二学期中であろうが、各クラブの発表機会としても生徒の親睦、情操向上においても大変有効なものである。運動会と同じくむしろ必要なものであろう▼だが直接これを催す側の、クラブに所属していない者、入つていても一度も顔さえ見せたことのないような者によつて簡単にその賛否をかたづけられるに致つては、実際にたづさわる者にとつてはいずれにしても迷惑至極である▼昨年の中止理由は運動会が遅過ぎたのでその準備期間がなかつたこと、三年生の受験準備に差し支えることなどが挙げられていた、今年はその二の舞を演じないだろうか。もつと適宜な時期と方法を問うことが必要なのではなかつたろうか。（K）

適正な眼鏡で
—学業の能率増進を…—
若松商連ショップ加盟店
愛智メガネ店
本町七丁目

お好み焼
喜久屋
是非一度御来店下さい
旭座街

紙類・文房具類・雑貨
安価良品
水野文房具店
深町小学校前

夏の装いは先づ帽子から…
学帽・その他多種在品
片山帽子専門店
—優良品質と最新型—
丸柏前

あなたの時計は正確ですか、
正確で良心的な値段で時計は
江本時計店
本町三丁目

○学習参考書売買貸本致します
○学生の御来店歓迎
川畑書店
老松町六丁目

意義あるクラブ活動への参加

生徒会クラブの紹介

英会話部

昨年は文化祭廃止のため英語劇も出来なく、英語会話部の真価を発揮することができなく残念に思います。その上、予期しないアメリカンスクールからのわが校訪問のため予算がくるい思うような活動もできませんでした。しかしながら本年は村上先生を顧問として部員三十余名、元気いつぱい張り切つております。そして今年はアメリカンスクールへ出かけて真の実力を発揮しようと思つていますわれわれは英会話部を単なるクラブとせず実力養成のための意義ある研究をしようと思う。このかぎられた時間を有意義にすごすのが私たち全体の希望です。

写真部

世は将にカメラ時代、町といわず行楽地といわずカメラが歩いている観はまさに一種のアクセサリの到来である。自分のサラリーの数倍もするようなカメラを持つていることは誠に不思議な国民だとはフイリッピンの賠償使節団中にとび出た言葉だそうである。本校の写真部でもその半狂乱の波に乗つてか、流行がおよび、その活動はまた、活発である。昨年来の部の活動状態は校内創作展、運動会写真展は大変好評の中に終了、多大の影響をおよぼしたと自負している。個人的なものでは今年卒業した田中君が『カメラ毎日』の創刊号に入選し全国的に写真部のために気を吐いた。本年度に入つては四月早々の修学旅行展を開いたが七月の中旬には校内創作展を開く予定である。今後の計画は多彩で文化部中でも派手な活動をしようと抱負は大きい。向井先生の熱心な指導と協力も大きく、また部では入試や就職などに個人の必要な撮影に応じますといつている。

放送部

今後の計画としては皆さんたちの放送部として利用していただくために皆様方の番組を組みたいと思う。ホーム・ルームの時間を一ケ月に一時間ぐらいもらつて放送劇をやりたいと思う。部員中のホープとして感覚の鋭い二年の薬石良子さんを上げたい。彼女は地方なまりが少しあるのでこれを直すと良いと思う。部員の練習は講習などでまとまつてするときがなくあいまいである。この問題がわれわれの今後の課題であろう。放送室をのぞいてもらうとわかるように実に不充分である。せめて改造だけでもやつてもらいたい。予算でも一年にレコードがたつた二十枚なんです。二十枚を一年間聞かねばならないわけです。常に活動しているのだからもう少し予算がほしい。放送関係に趣味のある方を下級生から若干募集したい。

（月曜）私たちの声。
（火曜）朗読『先生の想い出』
（水曜）映画案内。
（木曜）『世はさまざま』
（金曜）放送、詩集。

このほか時として『マイク・インタービユー』もしている。（荒瀬）

剣道部

今年における体育部中最も期待できる部の一つである。昨年は現在三年の桑原二段が国体で惜しくも三位に甘んじたが今年は一層の練習を積み、二年の時戦つた経験というものが彼の強みでありわれわれも期待できよう。だが彼許りではない。毎日の練習には四十人近くの者が励んでいる。最近、市の剣道大会に段以下の部に辻君が優勝しており、続く大庭、森本、恩藤二年に陣内、菊などの顔ぶれは近く行われる県大会にも優勝は望めよう。一年は桑原弟が光つているが今後の精進如何で兄に劣らぬ進出が見ものとなる。適当な体育館はないが当今北講堂が練習場で、現在、用具の不足の点で一年はしないと基本が主である。体育部唯一の点は山崎先生が毎日熱心に、実地に指導されており、桑原君の父哲真氏もよく歩を運ばれる。部員もこの熱心さに応えんものと竹刀の音が梅雨の雲を吹き飛ばさん許りである（Q）

陸上競技部

スポーツの王者は陸上競技である。わが部の過去の対戦成績は、四年前の全国高等学校駅伝競争に出場、九州大会、北九州大会、そして一昨年、昨年と若戸大会では二連勝を成し遂げている。現在は二十三名の部員数で構成されている。南の運動場をホームグランドとし、毎日、日野先生の指導のもとに、練習を行つている。さて今年の目標は、駅伝に主力をおいている。一年に二中出身の早い選手が入つて来たので一段と強くなつたようで、今年は期待されるのである。また短距離においてもリレーの県大会出場、槍、走巾跳びの県大会出場と昨年よりも成績が良いので、今後が期待される。また今年はどこの大会でも女子の進出がめざましく、わが部でも百米、走高跳、走巾跳、リレーと県大会へ出場走高跳の坂本さんは、北九州大会（大分）の出場権を得た。これでもまだ他校にくらべると、一段と見劣りがする。しかし今後期待される部の中で、最もイキであると信ずる。

剣道（団体）完全優勝遂ぐ

個人にもそろって桑原兄弟

―北九州剣道大会―

福岡県北部予選、北九州剣道大会は去る六日、午前九時より行橋町、筑上中部高校体育館において行われた。本校からは団体にはA B二チームが出場、期待に背かず堂々と他校を圧し準優勝戦においてこの両チームが顔を合わせ晴れの優勝と共に二位をも占めた。すなわち成績は次の通り。

第一回戦　若高A5―0筑上西
　　　　　若高B不戦勝
第二回戦　若高A5―0京都
　　　　　若高B5―0筑上北
第三回戦　若高A4―1小倉
　　　　　若高B4―1遠賀
第四回戦　若高B3―2若高A

参加校は十二校17チーム、本校は終始相手を圧倒し気味でチームワークのとれた戦いを行い、危げない勝ちつぷりであつた。

なお午後からは個人戦が行われこれにも一年の部には桑原（弟）が優勝、二位も同じく本校の加納二年は惜くも優勝を逸したが二位を陣内が獲得、続いて三年は桑原（兄）が優勝、二位辻、四位大庭とそれぞれ上位に入賞した。

大庭Bチーム主将談　始めから優勝する意気込みであつたけれども本校が一、二位を占め皆様の声援に応え得たのは嬉しい。ことに小差ながらAチームを破つて優勝したことは私としては意外なことではありましたが大変愉快に思つています。皆様の心からの御声援を感謝すると共に今後全員共に〝剣道若高〟の名を高めるため努力したいと思います。

桑原A組主将談　Bチームに負けたことは何としても残念です。だが別にA、Bを技術的に段階をつけたのではありません。今後、近く行われる県大会を目標に頑張りたいと思います。

【写真説明】右円内が桑原兄、左円内が弟、前列はチーム、後列はBチーム

柔道は第三位

北部予選

去る十三日（日曜）県高校柔道大会北部予選が八幡高校において行われた。二十四校約百四十人の参加のもとに午前九時より熱戦を展開、本校からも金尾、久保、石田、竹迫、森本の五名が出場、健闘善く、筑上西には惜しくも敗れたが三位に入賞、県大会出場権を得た。成績次の通り。

四回戦　若高5―0小倉南
準決勝　若高0―4筑上西
三位決定戦
　　　　若高3―2戸畑
優勝、筑上西②八幡③若松

学生と文化

北九州の方言

岡野信子

長い彷徨の末、私は今、言葉の学問に入りたいと願つている。倫理的にも論理的にも人間の言葉に不信を抱いて〝言葉以前の世界〟に憧れた身が、ひたすら言葉の姿を把握しようと努めているとは不思議なことでもある。私の対象はこの地方の生活語――いわゆる方言――の語法やその表現性で、身近かな話言葉の世界に国語のあり方を探りたいのである。

北九州の言語には特徴がないといわれるが、必ずしもそうではない。まず誰もが気付いているのは一段動詞のラ行四段化現象であろう。われわれの話言葉では『親に似ない』『食べさせる』より『親に似らん』『食べらせる』が用いられ、会議の席上や作文にもあらわれるほど根強い。例の『食べりー』『捨てりーちや』などもこの系列に捉えられはしないか。この現象は九州と東北にみられるが、国語全般の姿から考えてみた時、かつてナ変、ラ変、下一段であつた動詞が口語ではすべて四段となつたその次の段階とも思え、関東地方で『借りる』『足りる』と、一段化の傾向の強いことと比較して面白い問題を蔵している。

敬語法も面白い。狭い海一つ越えて来たに過ぎないのに『あすこに叔父さんが立つてあります』という表現が私には珍しかつた。『立つていらつしやる』ほど形式ばらず、ほどほどに親しみをこめたさりげない表現をうまいなと思うとともに『て』『ある』の尊敬表現について考えさせられる。たしか山口、広島あたりにも『何処行きよつてん』『お母ちやんがいうちやつたんよ（いうてやつたんよ）』などがあつた。『ある』はまた、『なん時ある？』（何時ですか）なども用いられその表現性は極めて複雑である。

助詞の世界には一入地方性が生き生きと示される。『行くけのう』『行きよらい』『行くでから』『行きよると』『行くんやけなあ』等々、文末助詞は表現の効果を狙つて添加、重複され、藤原先生のいわれる〝国語表現の助辞的展開〟の様相を如実に示している。

渡船の中で聞く少女の『まあたい』京都郡の『今日は神幸きなあ』（御神幸ですからねえ）築上郡の『行つちから悪りいあんた』（行つてはいけない）などは標準語法では理解できない接続、用法であるが、古い時代の用法を伝えているのではないかと興味深い。

渡船やバスの中、学校の廊下で気どらない人達の素朴な言葉の生活に触れるのは実に楽しく、誰にもできる勉強である。このごろ私は旧師や友人への便りに『東京に出たい』と書かなくなつた。何処に居てもそれぞれの運命に順応して勉強できるように思えてきたのであろう。北九州では方言の研究など無理だという人もある。確かに新開の工業地帯に純粋の方言を求めることは無理である。殊に北九州は豊日方言と肥筑方言の交錯地帯でもあつて、その姿態を的確に捉えることは困難であるが、ここには、地方の小都会の言語が如何に形成されてゆくかという新しい問題がありはしないか。名古屋には高校生で素晴しい成果をあげている人もある。若高生の中からも言葉の不思議さを感じて一緒に勉強して行く人が出てくれないものであろうか。一人歩きは心許なく私など迷つてばかりいる。あれは英彦山麓、京都郡伊良原村字帆柱からの帰りの車中であつた。予期しなかつた〝渡り鼻音〟を発見して有頂天になつていた私の耳に買出しの小母さん達の大声が飛込む。夫の病気、子供の学資、気むづかしい姑のことなど。聞いているうちに私は一つの語法、一つの音韻を探る自分の努力が、この人生に何をプラスし得るかと妙に空しくてやりきれなかつた。学問の宿命を知りながらも。こんな時、私は共に学ぶ生徒が欲しいとしきりに思うのである。

太宰府調査見学

歴史部

五月十六日、歴史部では、今年初めての調査見学旅行を岩尾、今泉先生引率のもとに決行した。まず飯塚附近の桂川古墳を県の許可を得て見学した。古墳調査を終えて次に梅と菅原道真で名高い太宰府天満宮へ参拝することにした。

かの左大臣時平の讒により大宰権師に位を落され、行年五十九歳で淋しく配所に薨じた道真公の霊を祭る拝殿前に歩を進めた。拝殿前には〝東風吹かばにおひ起せよ梅の花、あるじなしとて春な忘れそ〟と道真が別れに当つて遺した一首により主を慕つて京洛より飛び来たと伝えられる『飛梅』がいかにも長い年月を経たらしく、こけむした軒を見せている。案内人の説明によれば道真は文をよくし、詩歌に優れ、また筆道の枝は神に入り、小野道風などと共に書道の三聖と称せられただけにこの太宰府天満宮も今日では特に文教の神として広く信仰されているそうである。そこでわれわれも目前に試験がせまつているので道真公にあやかろうとばかり特に丁重に参拝して拝殿を出た広い境内には樹令数百年といわれる大樟の老樹が神甍を蔽い、その緑が朱塗りの社殿や反橋に、はえてなんともいえない美しさである他に小さいマグロくらいもあるような鯉が『ここだけは俺の天下だ』といわんばかりに、ゆうゆうと遊泳しているなど静かな中にも威厳を感じさせるものである、その後われわれは朱塗の楼門に別れをつげて、いよいよ最後の目的地たる太宰府跡へ向つた。途中日本三戒壇の一つで九州第一の大寺であつた観世音寺へ立寄つた。周囲を樹木でかこまれた観音堂の中にはいろいろの形の仏像などが国宝として安置されていた。太宰府は今から千年前、宣化天皇の御代に都督府、西海府など、政府のあつた所で九州の中心地であつた。われわれはまず総門のあつたと思われる所に行つてみた。丸味のある大きな石が一列に並んでいる。この大自然の中にあつて人の作り出したものは移り変つて行く、がこの礎石は自然と同様にいつまでもなくなることはないであろう。草の中にひつそりと永遠の沈黙を守つているこの礎石がまるで何かをうつたえているように思われる。午後から降り出した雨がややはげしくなつたので残念ながら帰途につくことにした。（勝手記）

世代の発言

努力が人生の勝利を

瓜生二成

生れたのが一九一〇年といえば、大日本帝国が韓国を併合し大陸進出の巨歩をふみ出した年に当る。日露戦勝の興奮未ださめやらず『日本勝つた日本勝つたロシヤ負けた』の歌中で幼年期をすごした。

第一次大戦で大勝を博したのは小学生の時。ヴエルサイユ会議の後は世界の一流国に数えられ、わが国の発言権は国際間に重きをなした。そして世界の五大国ないし三大国の一つと呼ばれるようになつたのは中学生時代であつた。

英・米の両国と並ぶ三大海軍国の一としてジユネーヴにおける軍縮会議（一九二七年）に活躍したのは中学の五年の時であつた。

現今とくらべて時代的背景が全く異つていたのである。今にして思えば、このような環境の中で育つたことは決してよいことでも、幸福なことでもなかつたのである。しかし、当時のわれわれは日本がすぐれた国であることを信じて疑うことはなかつたし、また日本人として生れたことに大きな誇りを覚えていたのである。胸を張り肩をあげて己が前途に夢を描き、希望の灯を自らの手で点じながら進むことができたのである。

現在の青年はどうであろうかすべてがそうであるとは思わぬけれども、われわれの青年期にくらべると著しく現実的、打算的、利己的で大志を持たずしかも退嬰的である。

もちろん世相は国の内外を員わず極めて不安であり、経済的にも政治的にも行詰りの状態にある。二大陣営の対立から生ずる世界的危機はいつ解決されるか予想もつかないし、外国軍隊の駐屯下にある国家が真の独立を恢復しうる日も近いとは思えない。原爆や水爆の脅威は頭上に重くたれ下つている。このような環境の下で青年諸君が、前途を悲観し希望を失いがちになる気持は、わかるし同情もするしかし、青年から夢と希望が消え、理想の世界に生きようとする意欲がなくなつたならば、それは青年という名にすら価しないといつても過言ではない。

また現今のような情勢だからこそ、青年諸君が奮起一番してこの難局打開のために挺身すべきではあるまいか。国の興亡や世界平和が青年の動向に大きく依存していることは、今さらローマの衰亡や明治維新の史実わひくまでもあるまい。

この世界をより安らかにするために、この国をよりよくするために、万民が平和に文化的に暮せるようにするために、今のような時世に青年として生れ合わせて来たことに生き甲斐が感ぜられ、人生に対する希望の巨火を掲げることも出来るのである。

しかし、これは決してなまやさしいことではあるまい。特に狭い国土にあふれる人口。生活難・就職難・入学難・結婚難等々行手の道はけわしい。これを切りひらく唯一の道は享楽を退け刻苦を以つて努力することである。ぬけ道や近道、安易の道を求めず、大道をこつこつと、おそくとも堅実に歩む事である。

平凡な道でも休まずに前進の努力を続けることが人生最高のゴールに通ずる唯一のものであろう。（一九五四・六・一〇）

クラスマッチの花開く

野球大会

五月六日からクラス・マッチとして毎放課後、校内野球大会が行われた。試合はトーナメントで学年別に行われた。

三年は北グラウンドで優勝戦が三組と一組の間で行われ、三組が優勝。

二年は一組と二組が優勝戦をし一組の打力を持つて快勝した。

一年は商業科と一組、二、三、四、組、五、六、七組がそれぞれチームを作り五、六、七組のチームが優勝した。

バレー

去る五月二十六日から毎放課後催された校内クラス対抗バレーボール大会は、二、三年男子（内職員一チーム）の部女子の部と、一年男子の部と女子の部に分かれて南コートで行われた。優勝戦に勝ち進んだ職員チームは、一方三ノ三を破つて勝ち進んできた二ノ三におしくも破れて二ノ三の優勝。女子の部では二ノ五が三ノ六を破つて優勝した。一年男子の部では圧倒的に強い六組が五組を簡単に制して優勝。一年女子の部では、商業科の勝利に終つた。

ソフトボール

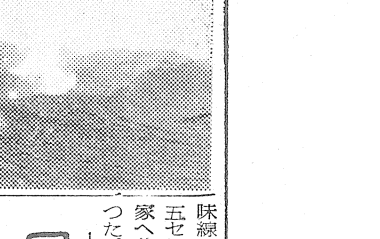
ソフトボールのクラスマッチの決勝戦は、五月十五日の放課後、行われた。

第一試合は一ノ四対一ノ六組で二十五対二十四の接近差で一ノ四組の勝となつた。

第二試合は、十四対七で二組をやぶり、決勝戦は商業科の投手陣の崩れに、四組が三十五点を上げ三十五対二十九で四組が晴れの優勝をした。

阿蘇へ親善登山

去る一日より一、二年で、待望の阿蘇登山を行なつた。心配された天気も、その日には、雲一つなく、絶好の登山日和であつた、仙酔峡で設営をし、午後からは、自標第一の、中岳高岳を従走した。高岳での展望は、格別であつた。北方には、九重祖母、南方には霧島、まつたくすばらしかつた。すぐ隣りの、根子岳の、大歯が無気味なほどに、そそり立つている。一日目には、順調に進み明日の根子への自信をつけ、営火を囲んだしかしはからずも、二日目には、朝から、激しい雨が降り続いた。このため何も出来ず、やむなく根子を、あきらめ、宮地へ下つた。今度のことは相互親善のためと今夏のアルプスに備えるために行なつたことだが、訓練装備の点で、いつその努力を、必要とすることを、強く知つた。（Y記）



私の趣味紀行

有明海の汐干狩

終戦後二年ばかり詩人北原白秋でその名も高い水郷柳川に暮したことがある。まだそのころは市制が布かれる前で柳川町といつた。水郷柳川とはよくいつたもので町の中を流れる美しい川の淵には柳の木が緑したたるごとく垂れている白秋の詩のごとく景色のよいところである。また四、五月ごろになると有明海沿岸地帯では好天気の日には潮干狩の客で、ひとしきり賑わう。余り多勢の人が行くので僕も一日近所の人たちと出かけて見た。お酒や、いろいろの御馳走を手に西鉄柳川より十分ばかりバスに乗ると白秋の生家のある魚落沖の端に出る。ここには先約の舟もおれば傭合船も数多くならんでいる。やや発動機船は沖の端川を海へ、海へと下つて行く。約三十分ぐらい行くと全くの海となる。そろそろ手持の御馳走を開き始める。追い越す船もあれば追い越される船もある。互いに手をふりふり約一時間半ぐらい行くと目的の場所に届く。潮水がかかつてもよい服と着替える。自分の船には他所と違つた目印をつけ、すぐわかるようにしておく。ヒザまでぐらいの水の中に入り籠と熊手を持つてウロウロしてる間に一面陸となる。どこまで行けば海かと思われるくらいここ有明海は遠浅である足浸々に水のあるところもあれば全くないところもある。あまり足はぬからない熊手でかき寄せたり手で拾つたりする。アサリ、赤貝うば貝と、しばしばハマグリもある。ところどころでピヨン、ピヨン魚のはねているところもある。有明海特有の口底が目前を泳いで行くが、なかなか取れない。二つ穴の開いているところをそつと掘れば、ここにはシヤコ（当地方ではシヤッパ）がいるけど素人には取れそうにない。ムツゴロという珍らしい魚がいる。一見ドンコみたいなもので砂上をピヨン、ピヨンはねたり、ゴソゴソ這つたりしている。二時間あまりもしたであろう、各自の入れ物には持てるだろうかと思われるくらい、いろいろの貝、またはカニなど一杯になつた。舟頭の『潮が満ちて来るぞ』の声に大急ぎで船のところへ帰える。引き潮と同様に見る間に水カサは増して行く。うつかりしていれば膝、股、腰と瞬間に一面海となつた。やや船は沖の端へと動き出す。沖の端へ着いて見ればタイラギといつて貝柱の貝など取つている人もあつた。ちようど三味線の撥のような大きいのは二十五センチぐらいもある貝である。家へ着くころは灯ともしころであつた。（筆者は古賀教官）

他校トピックス

弁当と心中

某高校の修学旅行中琵琶湖に立寄りそこで休けいを得た。さつそく腕自慢がボートを借りた。しかし女生徒も乗せた関係上、空腹をこらえて全身の力をしぼつてオールを漕いだとのこと。さて中食に女生徒が降りた後、ボート上にあつた弁当の争いが始まつた。勢いあまつて琵琶湖に『ドボン』悪口子評していわく弁当と心中したことになるとは……。

書評

田園交響楽

アンドレ・ジイド

これは、アンドレ・ジイドの小説らしい作品の中では『背徳者』『狭き門』につづいて、三番目の作とされているが、自己の心状の不安定そのものを、きびしく追求し、認識しようとするところは、他のものにもおとらないと思う。

とにかくこの主題は盲人が盲人をみちびくことから生じる悲劇の追求にある。『盲人もし盲人を手引せば、二人とも穴に落ちん』この昔ながらの悲劇の再現なのである。牧師が救つた盲目の少女ジエルトリユードは、それまで住んでいた美しい盲目の世界から解放される。しかし、彼女はその際に彼女を襲う烈しいまぼろしや幻滅感によつて見れば、一つの世界からもう一つの盲目の世界に移り住んだに過ぎなかつた。しかも、彼女の導き手である当の牧師は、キリスト教の教義から一切の暴露的なものを排除してひたすら、キリストその人の愛と慈悲と寛容に頼りきろうとすることにおいて、ジエルトリユードに輪をかけた典型的な盲人にほかならなかつた。このようなするどい知性の働きと完璧な芸術的操作とが美しく融合をとげた作品です。

図書館便り

▽私の実験室	原　光雄
▽世界文学全集	山内義雄訳
▽鷗外全集14巻	森　林太郎
▽掘辰雄全集第一巻	掘　辰雄
▽昭和文学全集34	正宗　白鳥
▽東京文学散歩	野田宇太郎
▽文学岩波講座	桑原　武夫
▽啄木全集	石川　啄木
▽太平洋戦争史	歴史学研究会
▽善意の人々1	ジユウルロマン
▽奈良朝文法史	山田　孝雄
▽女性の歴史	高群　逸枝
▽女子学生ノート	阿部　知二
▽化学ライブラリー	日本化学会
▽現代世界美術全集	後藤真太郎

編集後記

▽お百姓さんには相済まぬが、今年も衣更とともに嫌な雨季に入つた。今年の雨は何とか……ちまたの話題はあまりゾツとしない。われわれ部室に雨モリがする。放射能の関係ではあるまいが、一年生を加えた部員一同馴れぬ仕事に頭のモノが薄くなる思い……。▽生徒会もやつと予算成立にホツト一息、一面にその結果をお知らせする。新設欄二つ。一面に〝礫陵アノ人この人〟二面にも〝世代の発言〟として先ず四十代から瓜生先生に御登場願つた。今後、号を重ねて続けて行きたい。▽先号の訂正、御療養中の松本先生のお写真が違つておりました。深く先生にお詫びするとともに、われわれの不注意を広く謝したい。▽ヨチヨチ歩きの編集に記事が遅れがちだが、今後は面目を新たに大いに働きたい。ネタの提供も歓迎、どしどし投稿して生徒自身の新聞を活躍させて欲しい。

懸賞募集

礫陵新聞は諸君のものであることはいうまでもない。

新聞部では紙面を広く諸君に開放するため、下記の要項のように皆様の作品を募集します。

○小説、コント、詩、短歌、俳句、その他文芸作品で４００字詰原稿用紙１０枚以内。
○優秀作品には賞品を贈呈する。
○原稿は返却しない。
○投稿先は新聞部員又は設置予定の投稿箱へ。

＝礫陵新聞部＝

『ローマの休日』

六月三日映画部では『ローマの休日』の合評会を行なつた。今日は部員の活発な意見発表が出てヘツプバーンの話などが出て大変なごやかな中に終つた。

皆様の投稿歓迎します。匿名も可、原稿は返却致しません。

『女子と編向教育』を読んで

前号の本欄に『女子と偏向教育』と題して三年女子の意見が述べられていましたが、これについてこの欄を拝借して私の愚考をのべたいと思います。貴女は『家庭科が週に三分の一もある』『就職組にも普通科を教えてくれ』という要旨のことをいわれましたが、貴女はおそらくCコースを選択されたと思います。男子と同様、普通学を勉強されたいのでしたら、『裁縫は青葉でも出来る』とおつしやるのなら、何故Aコースなり Bコースを選ばなかつたのですか。Aコースまたは Bコースに入つたからといつて進学すべきだという規則もありませんし進学者達と同様に勉学出来るわけです。ですから問題は全然ないわけですが貴女は学校当局を批難されましたが、それは貴女の見解の相違、すなはち貴女の誤解ではないでしようか。もう一度ゆつくり考えて下さい。さて一、二年の女子の皆さんに付け加えて申しておきますが、コースの選択、科目の選択は真面目に考えて選択するように御願いします。（三年　男子）

下駄履き止めよ

入学してまだまもないが近頃下駄をはいて登校している人が目立つて激増している。この人達は校則を知らないのだろうか？特に三年生に多いような感じがする。この学校にきて三年間も過しているのに知らないはずはないだろう。三年生と言えば最高学年である、その下級生の模範たる三年生が校則を破つているのである。いくら三年生でも校則は守つてもらいたいものである。今後自重して下級生の良き指導者としての責任をはたしてもらいたい。（一年男子）

公共物を大切に

近ごろばかりではないが、みんなが学校の公共物を大切にしないということです。

現に私の机はきずだらけでおまけに底がありません。また教室や廊下を見ても壁板が破れていたりしているのが見られます。これらは総べて人為的にしたとしか思われません。相当に真面目に思われている人までが学校の物を乱暴にとりあつかつたりしているのを見ることがあります。彼らはいつたい学校という所をどういう所だと考えているのでしようか。学校はただ大学への踏み台としか考えていないのでしようか。二年　K

サービス第一・配車迅速
全車優秀外車
若松市遠賀税務署前
東洋タクシー
電話　⑦二四六九番（ニシムク）
　　　⑦二三四八番
全日営業！
深夜早朝の御用命は
何卒当社へ御用命の程を!!

親切と信用第一安価良品
金物ならなんでも揃う
アベ金物店
本町四丁目 TEL三一〇七番

新型
学生帽子と
紳士婦人帽の専門店
若松専門店会の店
若松ハット
中川通り TEL三六四四

知識の源泉
西海堂書店
本町四丁目
TEL二四一五

旅行のシーズンは写真のシーズン!!
カメラとD・P・E
―迅速―丁寧―美麗―
鳩居堂の筆
よしおか
本町四丁目
TEL二三五七